

平成22年4月6日

千葉市長

熊谷 俊人 様



真砂地区学校適正配置地元代表協議会

会長 北澤 陸男



真砂地区の小・中学校の統合による 跡施設活用の要望書

日頃より、市民生活の向上と教育発展のためにご尽力いただき、感謝申し上げます。

真砂地区の小・中学校の統合の組み合わせと場所及び時期等につきましては、昨年9月9日に、当地元代表協議会が提出しました「統合に関する要望書」の内容を尊重し、市として決定していただき、誠にありがとうございました。11月より統合の組み合わせごとに「統合準備会」が設置され、新設小・中学校の平成23年4月開校に向けた協議が進められていることについても、心より感謝しております。

さて、統合により真砂第一小学校が平成23年4月から、真砂第四小学校が真砂第二中学校の改修終了後、跡施設となります。また、真砂第二小学校におきましては、真砂第三小学校の改修終了後の用途として、統合中学校が体育館・校庭を使用することに加えて、校舎等について様々な活用方法が考えられます。

つきましては、跡施設活用について地元住民から出された意見・要望を、本協議会において下記のとおり取りまとめましたので、提出いたします。今後、市としての活用を検討する際に、格段のご高配をお願いする次第です。

どうぞよろしくお願い致します。

記

1 体育館・校庭の開放

現在、学校体育施設開放事業として、小・中学校の体育館・校庭を関係団体のスポーツ活動として開放していただいておりますが、統合して跡施設となった後も、引き続き体育館・校庭の開放を是非ともお願いします。

2 福祉施設としての活用

高齢者・子どもたち等のための福祉施設として、次のとおり活用の検討をお願いします。

高齢者福祉施設（老人ホーム、デイサービス施設、いきいきサロン等）、

児童福祉施設（保育所、子育て支援施設、託児所、児童館）、障害者支援施設

3 その他

次のとおり活用の検討をお願いします。

(1) 避難所としての指定

(2) 生涯学習施設（図書館、コミュニティセンター）、

教室等を活用した地域住民の活動施設（集會室、サークル室、備蓄倉庫等）

